

特定非営利活動法人 子育て応援団ひよこ
平成24年度事業報告
(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

<1年のまとめ>

- ・法人として事業を開始から二年目を迎え、初年度に手さぐりでやってきた事業を見直しながら、法人の運営基盤を築いていく一年となった。他団体や地域との関わりも広がりが見られ、着実に法人の基盤を作り上げていくことが出来てきていると思う。今年度の取り組みをさらに見直し改善しながら着実に事業を行っていくとともに、地域のニーズを把握しながら活動の幅を広げていきたいと思う。

<運営に関する事項>

☆総会の開催

日時 : 平成24年5月12日 18:30～19:00

味かん 別館にて

出席者数: 理事6名 正会員17名 委任状11名 計34名

- ・議題
 - ・平成23年度事業報告に関する件
 - ・平成23年度決算報告並びに監査報告
 - ・平成24年度事業計画案に関する件
 - ・平成24年度収支予算案に関する件
 - ・任期満了に伴う役員の改選に関する件
 - ・主たる事務所の住所変更に関する件
 - ・代表者選任に関する件

☆理事会の開催

① 平成24年5月12日(木) 19:00～19:10

(味かん 別館にて)

出席者数: 理事6名(7名中)

- ・議題
 - ・理事の互選について
 - ・代表権を有する理事以外の理事の代表権喪失の件

② 平成24年7月10日(火) 19:00～21:00

(那智が丘児童センター クラブ室)

出席者数: 理事7名(7名中)

- ・議題
 - ・事業報告(4～6月実施事業について)
 - ・「被災地子育て支援者心のケア」セミナーについて
 - ・NPO法人子どもの村東北との連携協力について
 - ・「被災地支援活動団体」への連携協力について
 - ・みやぎ教育応援団業務について
 - ・託児事業の内容検討
 - ・視察研修について

③ 平成24年9月25日(火) 15:30～16:30

(天童市ガスト)

出席者数: 理事7名(うち委任状による出席1名)

- ・議題
 - ・事業報告(7～8月実施事業について)
 - ・子育て交流ネット～なとり子育て交流会～について
 - ・NPO法人新座子育てネットワーク連携事業について
 - ・平成25年度実施事業内容検討

④ 平成24年11月27日(火) 10:00~12:00
(みどり台集会所)

出席者数:理事6名 欠席1名

- ・議題
 - ・事業報告(9~10月実施事業について)
 - ・平成25年度那智が丘児童センター運営事業について
 - ・事業について
 - ・平成25年度実施事業内容検討

⑤ 平成25年2月18日(月) 18:00~20:00
名取市市民活動支援センター

出席者数:理事5名 欠席2名

- ・議題
 - ・事業報告(11~1月実施事業について)
 - ・平成25年度事業案について
 - ・法人職員の雇用条件の改善について
 - ・平成25年度理事会活動計画について
 - ・平成25年度総会について
 - ・ホームページ掲載内容の追加変更について
 - ・NPO法人子育てひろば全国連絡協議会への団体加入について

*理事長や事務局の独断ではなく、理事会の中で事業検討などをしっかりと行うことが出来る体制を確立することが出来、昨年度の課題を改善することが出来たように思う。今後は理事を中心としながらも、市内や県内で活躍されている有識者の方々から意見を頂く機会を設けることなどしながら、理事会の機能をより高めて法人運営に取り組んでいきたいと思う。

☆法人職員体制(平成25年3月31日現在)

①子育て応援団ひよこ事務局

事務局長(兼那智が丘児童センター事務員):鈴木 敏浩

②イベント託児事業

代表(兼副理事長):松木 浜子

副代表(兼副理事長):白川 万喜子

ボランティア登録スタッフ:25名

③那智が丘児童センター委託運営事業

施設管理者兼主任児童厚生員(兼理事長):齋藤 勇介

副主任児童厚生員(子育て支援担当):宇津宮 慶子

副主任児童厚生員(学童部担当):武者 たい子

臨時児童厚生員(子育て支援担当):大友 美和子

臨時児童厚生員(学童部担当):久保 允

臨時児童厚生員(フリー):神賀 ゆかり

事務員(兼事務局長):鈴木 敏浩

補助員:今野美智子、浅野裕子

<活動に関する事項>

☆特定非営利活動に係る事業

- ① 事業名 : <子育て支援事業>
 事業内容 : 那智が丘児童センター運営管理事業 (業務委託)
 実施日 : 年間を通じて実施
 *日曜、祝日、年末年始 (12月29日～1月3日) を除く
 実施場所 : 名取市那智が丘児童センター
 従事者 : 常勤7名、サポートスタッフ2名 (長期休みやイベント時など)
 受益対象者 : 0歳児から小学生とその家族及び中学生、高校生
 事業収入 : 14,920,000円 (那智が丘児童センター委託費)
 事業支出 : 14,623,509円

<那智が丘児童センター活動内容>

1. 運営方針

- ① 児童に健全な遊びや活動の場を提供し、心と身体の健康の増進を図るようにする。
 ② 健全な遊びを通して、児童に日常生活の在り方や、安全について体得できるようにする。
 ③ 異年齢児との活動を通して、心と心のふれあいと社会連帯意識を育てるようにする。

2. 目的

- ☆生活や遊びを通して・・・①組織的運動や遊びを集団的に実施することにより、児童の活動力を助長する。
 ②いろいろな経験をすることで遊びの楽しさを知らせる。
 ③ルールを身につける。
 ④異年齢との交流を深める (思いやり・協調性を養う)。
 ☆安全に過ごす・・・危機管理意識を持つ。

・保護者支援・子ども乳幼児への支援

<p>子育てサロン (びよびよハウス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児の中で親子共に心安らげる場所を提供する。 ・ 育児についての不安や悩みを共有する。 ・ 月曜日～金曜日 9:00～16:30 (祝日、年末年始を除く) *年間利用者数は別表1参照。
<p>ファミリー フェスティバル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の子育て支援センターと連携し実施する子育て支援行事。 年間1回 述べ77組の親子が参加 *高館保育所・増田保育所子育て支援センターと連携し、実施している。
<p>育児リフレッシュ (ココの時間・ シネマ de コッコ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子分離を行って活動を楽しむことで、育児リフレッシュを図る。 ・ 少しの時間子どもと離れ、自分の時間を過ごすことで、心にゆとりを持ち、育児の楽しさを再確認してもらう。 <p><ココの時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間8回実施 (延べ64名参加 託児69名) *参加費 無料、活動中託児有 <p><シネマ de コッコ>*ママの映画会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全11回開催 延べ228名参加 *映画会の会場に遊びのスペースを設置。託児は行わないが会場内でスタッフと遊びながら過ごすことが出来る

遊びの広場 「ぴよぴよ広場」	<ul style="list-style-type: none"> 親子触れ合い遊びや集団遊びなどの活動を通じて、子どもとの関わり方、子育ての楽しさを伝えていく。 工作、クリスマス会、遠足、歯磨き教室など実施。 年間10回開催。 延べ318名参加
子育て情報誌の発行 「piyopiyo」	<ul style="list-style-type: none"> 情報誌を通じて、子育てに関わる情報を地域へ伝える。 毎月1回発行
その他	<ul style="list-style-type: none"> おこさまランチ、親子遠足、歯科指導等 年間12回実施 延べ226名参加 メール配信・ホームページ・ブログを利用したの情報提供



子育てサロン ぴよぴよハウス



ぴよぴよ広場「はじめの会」



**活動ボランティアによる
お楽しみタイム
「おこさまランチ」**



**ぴよママタイム！！
「紅茶講座」**

<放課後児童クラブ>*平成24年度登録児童数 41名(3月末日時点)

児童に対しての遊びの指導及び助言並びに放課後の生活の場の提供。自由来館業務に関しては、登録児童以外の1年生から6年生までの児童及び中学生、高校生

① 各種活動行事

- ・各種大会等……様々な遊びに挑戦し、楽しさや達成感が感じられる活動を実施。
 - ・工作タイム……身近な材料などを使い、簡単で楽しい工作を実施。
 - ・スポーツタイム…ドッジボールやバレーボールなど、体を元気に動かす。
 - ・お話しタイム……お話しボランティアさんによる楽しいお話の時間。
 - ・ティータイム……簡単なおやつを自分で作ってみんなと楽しく食べる。
 - ・きりえタイム……カッターの安全な使い方を知り、自分だけの作品を作る。
- ☆その他、折り紙タイムやお茶会など楽しい行事を多数実施。

<次世代育成支援>

育児ボランティア 育成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域にある大学を中心とした学生ボランティア育成支援 ・ 子育て経験者を中心とした育児ボランティアサークルの育成支援
------------------	--

<地域交流>

お話し会	月1回、地域のお話しボランティア「お話しポケット」によるお話し会を開催。活動を通じて子どもたちと地域の方々との交流を図る。 参加者：小学生 延べ385名参加
老人保健施設なとり 慰問交流会	学区内にある老人保健施設なとりとの慰問交流。世代間交流を通じて思いやりの心や、やさしい気持ちなど、子どもたちの心の成長を育む 児童13名参加
福寿会交流	地域で活動している福寿会との交流。ゲートボールやグラウンドゴルフなどの活動を通じて、地域の世代間交流を図る。 年間1回開催 児童17名参加

出産を控えた方から次世代を担う方々、放課後児童クラブ対象児童、子育てをひと段落された方々までつながりを持って支援していくことで、育児力の向上を図るだけでなく、地域の育児に対する意識の向上や、児童センターを介した地域交流から地域の活性化を目指している。

那智が丘児童センター利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	計
開館日数	24日	24日	26日	24日	27日	125日
登録児童 (放課後児童)	601名	605名	614名	575名	498名	2893名
自由来館 (小学生以上)	213名	206名	256名	216名	199名	1090名
乳幼児の親子 (サロン利用)	228名	254名	198名	233名	196名	1109名
行事 クラブ活動	326名	323名	293名	578名	538名	2058名
他団体 地域活動	199名	270名	241名	285名	158名	1153名
合計	1567名	1658名	1602名	1887名	1589名	8303名

	9月	10月	11月	12月	計
開館日数	22日	26日	24日	23日	95日
登録児童	494名	566名	559名	503名	2122名
自由来館 (小学生以上)	173名	178名	130名	155名	636名
乳幼児の親子 (サロン利用)	357名	327名	280名	290名	1254名
行事 クラブ活動	331名	310名	312名	361名	1314名
他団体 地域活動	200名	188名	180名	133名	701名
合計	1555名	1569名	1461名	1442名	6027名

	1月	2月	3月	計	総計
開館日数	23日	23日	25日	71日	291日
登録児童	423名	421名	489名	1333名	6348
自由来館 (小学生以上)	79名	108名	167名	354名	2080名
乳幼児の親子 (サロン利用)	222名	202名	286名	710名	3073名
行事 クラブ活動	258名	251名	508名	1017名	4389名
他団体 地域活動	22名	6名	135名	163名	2017名
合計	1004名	988名	1585名	3577名	17907名

*1日平均利用者数：約61名

(登録児：21名 自由来館児：7名 乳幼児親子：11名 行事等：15名 他団体：7名)

<成果課題>

名取市においては、乳幼児の親子へ向けた子育て支援のニーズは大きくなっているものの、「児童センターは小学生遊ぶ場所」と放課後児童クラブのみが周知されており、「乳幼児は遊びに来てはいけない」「遊びに行きにくい」という印象があるようだが、積極的に乳幼児親子が過ごしやすい環境作りに取り組んでいくことで、那智が丘児童センターの乳幼児親子への取り組みは定着し、那智が丘地区の方々だけでなく、広く利用してもらえるようになった。また、市内に2か所ある地域子育て支援センターとの連携など着実に取り組みを強化することが出来ている。

小学生の取り組みについても、行事などを通じて様々な経験の場を提供するなど内容は充実していたように思う。しかし、自由来館児童の利用はまだ少なく、児童センターの取り組みを地域へ知らせていくための工夫していきたいと思う。

2年間の取り組みが認められ、単年度の運営委託事業から平成25年度より5年間、法人が指定管理者となり、公設民営の児童センターとして新たなスタートとなる。2年間の活動を再度見直し改善しながら、新たに法人が運営する児童センターとしての特色となる活動を取り入れ、取り組みの充実を図る。



老人保健施設なとり慰問交流



けん玉教室



ハロウィンパーティー



遠足



「劇団風の子」演劇公演



新春コンサート



ティータイム (クッキング)



お茶会



あそびプラス ONE

- ② 事業名 : <次世代育成事業>
 事業内容 : 子育て支援者のためのスキルアップセミナーの実施
 事業収入 : 339,000 円
 事業支出 : 429,428 円

<平成24年度子育て支援者スキルアップセミナー> *H24.6~11 (6回シリーズ開催)

- ① あそびうたワークショップ (名取市文化会館 小ホール) 参加者: 117名
 ② 信頼される保育者のために～接遇力を磨く～ 参加者: 26名
 ③ お母さんが主役の子育て支援～今、求められている子育て支援～ 参加者 18名
 ④ 保育に役立つ手作りおもちゃ 参加者 23名
 ⑤ 自閉症スペクトラム障がいの特性理解 参加者 40名
 ⑥ <午前の部>

- ・笑顔満開講座
- ・体を動かして楽しもう

<午後の部>*分科会

- ・保育環境について
- ・障がいを持った子どもとともに育むクラス運営
- ・ツ・ナ・ガ・ル子育て支援
- ・保護者の気持ち Q&A

参加者 19名参加

*①以外は、那智が丘児童センターを会場として実施。

<子育て支援者のためのスキルアップセミナー 特別セミナー>

H24.9 ～被災地子育て支援者心のケア～ 名取市文化会館会議室

協力: 宮城県学童保育緊急支援プロジェクト



あそびうたワークショップ



**信頼される保育者のために
～接遇力を磨く～**



保育に役立つ手創りおもちゃ



自閉症スペクトラム障がいの特性理解

③事業名 : <地域の連携事業>
 事業内容 : 子育てイベント託児

日付	催事名	場 所	託児人数		ボランティア	謝礼
			男児	女児		
H24 6/7	ファミリー・サポートセンター交流会	那智が丘児童センター	2	0	2	2,000
6/11	公民館主催行事	館腰公民館	2	5	5	2,000
6/14	ファミリー・サポートセンター交流会	増田児童センター	0	2	2	2,000
6/25	公民館主催行事	館腰公民館	1	6	6	2,000
7/9	公民館主催行事	館腰公民館	0	4	4	2,000
7/12	ファミリー・サポートセンタースキルアップ講座	増田児童センター	0	2	2	2,000
7/23	公民館主催行事	館腰公民館	1	4	6	2,000
8/6	〃	〃	1	5	5	2,000
8/20	〃	〃	1	3	5	2,000
9/21	〃	那智が丘公民館	2	6	5	2,000
10/15	ファミリー・サポートセンター講習会	増田児童センター	4	1	2	2,000
10/23	〃	〃	2	1	2	2,000
10/24	サークル交流運動会	ゆりが丘公民館	0	2	2	2,000
10/30	ファミリー・サポートセンター講習会	名取市保健センター	2	1	1	2,000
11/13	ファミリー・サポートセンター講習会	館腰公民館	0	1	1	2,000
11/16	本郷幼稚園行事	名取市保健センター	3	2	4	2,000
H25 1/26	体育協会主催行事	下増田公民館	4	2	5	2,000
2/2	〃	下増田公民館 *当日託児キャンセルによる	0	0	3	2,000
2/15	ファミリー・サポートセンター交流会	名取市保健センター	3	2	4	2,000

2/23	体育協会主催行事	下増田公民館	3	1	3	2,000
3/16	〃	〃	1	3	3	2,000
合計	22回		37	59	74	44,000

託児事業収入：44,000円

イベント託児事業に係る支出：21,908円

(ボランティア交通費・保険料として)

<成果課題>

子どもたちにとって、託児は嫌な時間ではなく「お楽しみの時間」となるよう雰囲気作りなどを考えて実施していくことで、利用者から「すごく安心してセミナーに参加することが出来ました」などのコメントを頂くことが出来ている。それだけに、依頼件数も増えてきており託児ボランティアスタッフの増員など、あらためて内部強化を図る必要性が出ている。託児ボランティアとして関わるスタッフ自身も安心して楽しく活動していけるよう取り組んでいく。

<他団体との連携・協力>

*県内外の被災地支援や子育て支援を目的とする支援団体へ、協力団体として活動協力を実施(会場の設定、広報活動、ボランティアスタッフとして活動協力実施)

H24～現在「みやぎ教育応援団」団体登録

*協働教育ネットワーク会議参加 (理事長 齋藤勇介 事務局長 鈴木敏浩)

H24.6～現在「NPO 法人子どもの村東北」への連携協力

*セミナー開催時の託児及び、学生託児ボランティアの育成指導

H24.9 「被災地笑顔プロジェクト～コミュニケーションマジックショー」実施

名取市文化会館小ホール (日本コミュニケーションマジック協会)

H25.1～2 「NEC 子育てママのための IT 講習」実施

名取市文化会館会議室 (共催：新座子育てネットワーク 協賛：NEC)

*東日本放送 スーパーJチャンネルより取材有 (同日放映)

(その他)

のびすく仙台 パパサロン講師 *年間4回開催 (理事長 齋藤勇介)

名取市保健センター もぐもぐセミナー講師 *年間4回開催 (理事長 齋藤勇介)

栗生あおば保育園 お楽しみ会 (0歳児・1歳児 各1回) 講師 (理事長 齋藤勇介)

H20.4～現在 名取市生涯学習課家庭教育基盤形成推進事業との連携

(家庭支援チーム員ぼっぼはうすとして従事)

H23.6～現在 名取市社会教育委員 (副理事長 松木浜子)

H24.6～現在 名取市男女共同参画推進委員 (理事長 齋藤勇介)

H24.～現在 宮城県「親の学びのプログラム」作成委員 (理事 中保良子)

<成果・課題>

他の団体や地域との連携やつながりを育むことで、新たなつながりが生まれ、それが取り組みとして形になってきており、取り組みは充実してきている。

しかし活動には、事務局を中心に主に児童センタースタッフが業務に携わっており、主として活動している児童センター事業と重複して業務を行うため、ボランティアスタッフに協力を仰いでいるものの、まだまだ職員の負担は否めない。団体としての基盤をより強固なものにし、今後は職員の増員なども視野に入れながら、事業に取り組んでいく必要があると感じている。

☆研修

役割に応じた研修に参加し、それぞれのスキルアップを図った。

<法人職員研修>

- ・視察研修「山形県東根市さくらんぼタントクルセンター、天童市わらべ館」
(理事6名、事務局1名、監査1名 計8名)
- ・視察研修「ふれあいプラザのびすく長町南・富沢児童館 他」
(児童センター職員 5名)
- ・子育て支援者スキルアップセミナーへの参加

<外部研修への参加>

- ・社会教育指導員、社会教育関係職員等研修会
- ・児童館職員研修
- ・全国児童館長研修（東京ビックサイト） 等

*その他、子育て支援に関わる研修会へ多数参加。法人職員として、子育て支援者としての資質の向上を図っている